

重 賞

世界情勢は押詰つた、資本主義は最後のあかきに奮闘してゐる、各々帝國主義的プロテクト経済の確立に狂奔し反動フアツレロ政策はソビエトロシヤと中國ソビエトを除く以外一切の資本主義國家にのた打つてゐる。

日本に於ても金融資本獨裁の分財は益々増入し其の系統にあらざる諸産業は倒産没落し大衆は窮乏し失業者は尙に増してゐる。殊に農村の困窮は自給に絶し全國各地に亘つて連年の如く飢饉に襲ひ来る災害と凶作災に自ら留て得ざるものであるが更に根本的な日本農業問題の痛は對蹠的な高半小作料の搾取劇度である、それに極度に細分されたる非科学的な零細農經營である、尙更に獨立資本の抑壓即ち肥料、電燈、電力料金の我々への收奪である。

斯る客観的情勢は不可避的に我々の闘争を呼起させすには措かざるを得ない。

い大衆の在地的、政治的、経済的立場を非常時の名に於て誤闢化すフアツレロ政策との闘争獨占資本との闘争我々の生活を奪ふ土地取上との闘争、高半小作料との闘争、帝國主義戦争遂行に依る龐大なる軍事謀算との闘争等々であるが我々は斯る闘争を全面的政治的ならしむる爲に農民收帳の全線的統一、更に労働者農民提携の全國的運動を捲き起さねばならぬ。我々は今福佐聯合會第八回大會の名に於て全國の同志諸君並に全動勢大衆に向つて此の闘争を諸君と共に固く和ひ決行せんことを誓ふものである。

一九二五年十月十九日

全農福佐聯合會第八回大會